



成田伝統芸能まつり・ご当地キャラ成田詣 9月15日・16日 AR f

## 全国の26団体が集結

市内をはじめ県内外から芸能団体が集まり、多彩な踊りなどの伝統芸能を披露する「成田伝統芸能まつり」が、成田山表参道を中心に開催されました。表参道の各ステージは、伝統芸能を一目見ようとする多くの見物客でにぎわい、中には自ら踊りに参加し楽しむ人の姿も。パレードでは普段は見ることのできないさまざまな団体が、芸を披露しながら表参道を歩き、沿道は見物客で埋め尽くされました。また、全国各地のキャラクターが集まる「ご当地キャラ成田詣」も同時開催され、2日間で延べ15万人もの来場があり、大盛況となりました。



①華やかな阿波踊り②ご当地キャラが大集合  
③見物客も踊りに参加④秋田の竿燈と成田の屋台が共演

リングdeヨガストレッチ 9月13日 f

## 心地よく伸ばしてほぐして

アーチのある輪状の器具を使った体のほぐし方を教わる「リングdeヨガストレッチ」が、もりんぴあこうづで行われました。この器具は、体のより深い部分まで刺激を与え、楽に可動域を広げられるようにするもの。参加者は床に置いた器具の上で体を揺らしたり、持ちながらヨガのポーズをしたりと、さまざまな動きを実践しました。参加者の1人は「リンパの流れがよくなったのを実感できた」と話していました。



器具は並べて使うことも

肩甲骨周りのストレッチ

にほんごかきかた教室 9月22日 f

## ひらがなやカタカナを学ぶ

外国籍などの親子が、ひらがなやカタカナのきれいな書き方を教わる「にほんごかきかた教室」が三里塚コミュニティセンターで行われました。参加者は自分の名前をカタカナで書いたり、よく使う漢字を覚えたりとレベル別に練習。ノートは繰り返し書いた文字でいっぱいになっていました。家族4人で申し込んだという参加者は「日本語をきちんと書けるようになりたいので参加した。テキストを使って家でも練習したい」と話していました。



鉛筆の持ち方もきれいに書くポイント

AR

写真だけでは伝えきれない魅力を動画で!!

「まちのできごと」に掲載されている写真から、AR(拡張現実)を利用してスマートフォンやタブレットなどで、動画を見ることができます。右にある二次元バーコードからCOCOAR2アプリをダウンロード。アプリを起動してARマークが付いたコーナー全体にかざすと動画が見られます。

COCOAR2



アプリアイコン



iOS・Android対応

中学生親子歌舞伎講座 9月21日



## 伝統芸能の奥深さを知る

市内の中学生に歌舞伎に親しんでもらおうと「中学生親子歌舞伎講座」が国際文化会館で行われました。講師は成田市御案内人の市川海老蔵さん。ステージには海老蔵一門の福太郎さんと福丸さんも登壇し、歌舞伎を始めたきっかけやこれからの目標などを対談形式で語りました。また中学生の代表9人が、役者を効果的に見せるための所作である「見え」の指導を受けるなど、歌舞伎の世界に触れる貴重な体験をしました。



①全員で「見え」を切る②対談は和やかな雰囲気③中学生からは鋭い質問も④隈取りをしたうなりくんも登場

久住地区敬老会 9月17日



## 特別な日にお祝いを

敬老の日にちなんで、各地区の社会福祉協議会が市内に住む70歳以上の人を招待し開催する敬老会。久住地区では、久住中学校が会場となり761人が招待されました。会場では、同校の生徒によるソーラン節の演技や久住小学校音楽部の合唱、月かげ保育園卒園生による太鼓の演奏などが披露されました。参加者は、心のこもった発表に盛大な拍手を送って楽しんでいました。



息の合った太鼓の演奏

統計グラフコンクール

## 市長賞に枝澤怜音さん

「成田市統計グラフコンクール」に、市内の小中学生から59点の作品が寄せられ、特別賞4点・金賞34点が選ばれました。応募作品は、県統計グラフコンクールに出品されました。

特別賞受賞者(敬称略)

市長賞 枝澤 怜音(公津の杜小5年)

議長賞 中村 舞(下総みどり学園8年)

教育長賞 小野寺 咲李(玉造小1年)

統計研究会長賞

堤 雛花(成田高校付属中3年)



市長賞を受賞した枝澤さん



枝澤さんの作品